

キャラクター名
空鳴 蒼天

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ エグザイル		ワークス	UGN支部長B	カヴァー	
	オプション		年齢	26	性別	男
覚醒	渴望	衝動	飢餓	初期侵食率	31	%
出自	犯罪者の子	経験	仲間の死	邂逅	腐れ縁	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	4	0	0			4	行動値	7
感覚	2	1	0			3	(非装備時)	7
精神	1	0	0			1	戦闘移動	12
社会	1	0	0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
レイジングブレイド	白兵	4r-3	6	12		ダメージ+2d10 1シーン1回 行動値-4 装備している間他の武器は装備できない
フォールンライフル	射撃	3r+1		10		対象が行う判定のダイスを-3個する同エン不可
UGN大剣戦闘術-毒付与	白兵	7r+7	6	12		邪毒ランク3付与
チャージクラッシュ	白兵	4r				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ウェポンケース	
コネ:UGN幹部	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
秘密兵器:レイジングブレイドP		N		
もう会えない人	P 憧憬	N 悔悟		
マリア・チェスノコ	P 感服	N 恐怖		
遺産:エリシウスの秘儀	P 傾倒	N 嫌気		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:	3	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果: C値-Lv (下限値7)								
アームズリンク	3	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: ダイス+Lv個する								
餓鬼魂の使い	4	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 邪毒のランク1シーンLv回する								
ヒュドラの怒り	3	4	セット	至近	自身	自動	100%	
効果: 攻撃力+Lv×3 ダイス+3個する								
アタックプログラム	5	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 達成値+Lv×2する								
セキュリティカット	★							
効果:								
異能の指先	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

とある複数の秘密兵器を操るオーヴァード
変形機構を持った-バンシー-という秘密兵器を操る。
バンシーは機械的な部位の一部に黒い生物のようなパーツが見える。

人工秘密兵器研究 -Ba04-

UGNの秘密兵器研究長であった空鳴悟志の息子であった、空鳴蒼天はオーヴァードに覚醒しきれず、UGNの研究施設で保護されていた、他にも子供たちと暮らしていた、幼少期を研究施設で過ごしており、義務教育はUGNの教育プログラムで修了した。

人工秘密兵器の作成という研究をしていた秘密兵器研究所は最初はレネゲイドウィルスに感染している物体の加工が主な研究であった。当初のプロジェクトは上手くいったが、その後か問題だった。

それは兵器へ開発だ。

その問題とは物体同士のシンドロームが確定している場合物体の接続が出来ないことが判明した。
シンドロームが決まっている場合それ以外のシンドロームを受け付けないというものだ、磁石のS極同士のように反発し合う。

そこで、UGNの研究員達はとある研究に着目した。
クロスブリードのオーヴァードとジャームを生体パーツとして使う非人道的研究が進められていた。

ファルスハーツのスパイがこの技術を提案し、UGN内に共有されないまま空鳴の父はファスハーツスパイの口車に乗せられ、この禁じられた研究は続けられた、しかもその研究ではまだシンドロームが発現したばかりでエフェクトもまともに使えない子供ですら研究の材料に使われた、彼らは元より戸籍もない孤児ばかり